



# FAS 住まい新聞

発行責任者  
榎福地建装

北斗市中野通 324  
Tel.0138-73-5558

～北海道のような爽快さを家の中に～

## ◇ 北海道に梅雨はありません ◇

北海道の真冬は、いつも氷点下と言う厳寒状態が続きます。しかし、本州の梅雨から真夏にかけての時期、北海道はとても過ごし易い日々が続きます。

北海道の夏は、同じ気温でも本州より爽やかに感じる事は誰もが知っており、本州より湿度が低い事も知っている事でしょう。事実、梅雨前線の最北端が津軽海峡あたりで止まっているため北海道に梅雨はありません。

本州の梅雨時期には、湿った空気を停滞させるため、例えば気温 26 度でも湿度が 80%の時もあり、とても蒸し暑く感じさせます。北海道は同じ 26 度でも湿度が 50%程度なので蒸し暑さを感じません。

このように湿度が低く気温が 26 度程度の場合には、木陰などに身体を置くと、とても涼しくて爽快感があります。本州の家の中にも、このような湿気の少ない環境をつくってあげる事で、真夏の梅雨時期を北海道のように爽快で快適に過ごす事が出来るようになります。

だからと言って単に除湿機をフル稼働させても、その除湿機の稼働によって発するエネルギー熱も存在するため、決して簡単で単純なものではありません。

## ◇ 家の中の湿気を下げるには ◇

私達は、気温（顕熱）と湿気の持つ熱（潜熱）を合わせた全熱の中で暮らしています。除湿機の場合、湿度（潜熱）を下げてその際に使用したエネルギーが顕熱として家屋内に残りますので、その熱をも除去しなければなりません。

北海道のように自然界そのものの湿度が低いのと異なり、本州の家屋内では、湿気を取るために使用する熱と、その熱収支との相殺勘定が必要となります。

機械的に湿度を抑えるには、エアコンを上手に使用すべきですが、現在、市販されているほぼ全てのエアコンに、ドライモードと言う気温（顕熱）を下げるに湿気（潜熱）だけを除去する装置がついています。

ドライモードとは、例えば気温 26 度で湿度が 80%の室内を、30%の湿度を除去し、北海道のように 50%まで下げるのです。当然、エアコンがその際に発する稼働熱があるので、エアコン設定温度を室温より若干低めに設定してドライモード稼働を行う事になります。湿気が抱えていた「潜熱」という熱は、エアコンのドレン管（結露配水管）より滴となって外部に排出されています。

誰もが目にするあの滴は、家屋内の湿気の持つ（潜熱）だったのです。

## ◇ 家の性能とドライモード稼働 ◇

家の中で盛んにエアコンでのドライモード稼働を行ったとしても、家に隙間が多い場合は、次々に湿気を外部から引き寄せてしまいます。必要以上に冷房気温を下げますと、外部から引き寄せられた湿気が、外壁部の内側（室内側）で結露状態になる場合があります。これを逆結露、夏型結露などと言います。

これは気温 30 度で湿度 50%の時の露点温度（結露が発生する温度）が 18.4 度ですが、同じ気温で湿度 80%では、露点温度が 26.2 度となります。つまり 26 度以下の部分に結露が発生する理屈になるため、冷房の設定気温によっては、内部結露を助長する事にもなりかねません。よって、湿気が入らないような気密層をしっかりと家の性能として完備する事が不可欠です。

## ◇ 「ファースの家」の除湿装置がバージョンアップ◇

今月から供給するファース AI キットの除湿装置が変更となります。従来、床下に二台の除湿機を設置しておりましたが、「床下でのメンテナンスがし難い」「床下に残した熱を取り出し難い」と言う難点もありました。

新除湿装置は、天井裏への設置となります。これはメンテの利便性と除湿機が発する熱を直接外部に排出できる構造上の利点があります。

ファースの家は、外部からの湿気をシームレス状の気密層で完全にブロックする構造となっています。更に床下などに敷設したスカットール（シリカゲル）が湿気の多い時に吸着し、少ない時に放出する機能を有しており、常に家屋内を一定湿度にキープできる構造となっています。 「著 福地脩悦」

## 妻太の知恵袋

### 密閉容器のにおいをとる

プラスチックの密閉容器は便利だねえ。  
食べ物を保存しとくにもいいし、電子レンジにも使えるし。  
お弁当箱にもぴったりだね。  
でも、お弁当に漬け物なんか入れたときは、どうしても容器に、においが付いちゃうんだよね。洗ってもなかなかとれやしない。そんなときは、米のとぎ汁に一晩、浸けておくんだよ。次の朝には取れてるからね。



家の事なら何でも解る ファースオフィシャルサイトは

空気サラサラ

検索